

農業・食品産業競争力強化支援事業に関する事業評価シート

【事業名：平成21年度青果物鮮度保持技術・新流通システム実証事業】

東北農政局

都道府 県名	市町村名	事業実施 主体名	取組名	事業実 施年度	対象作物	事業内容 (施設種類)	成果目標の達成状況				事業評価の 検証方法	費用対効果分析		事業計画 の妥当性	適正な事 業執行	地方農政局長等の意見	備考	
							具体的な内容	現状 (計画時)	目標 (23年度)	実績 (23年度)		達成率	事前評価					事後評価
青森県	五戸町	八戸農業 協同組合	鮮度保持	平成 21年 度	にんにく	高品質に んにくを年間 を通じて安定 的に出荷す るため長期 貯蔵できる施 設を整備 (長期鮮度保 持施設)	月別出荷量の 変動係数を15 %以上削減	変動係 数 0.4668	0.3722 20.3%削 減	0.6006 28.7%増 加	-141.4%	月別にんにく 出荷実績	1.076	1.403	1	2	・事業計画で定められた算定方法では、当該施設を利用しない加工用を含んでおり、施設の利用実態を適切に反映して評価できないことから、加工用を除外する方法に見直すことが妥当である。	
算定方法の見直しによる事業評価							変動係 数 0.4338	— 20.3%削 減	0.3124 28.0%削 減	138.1%	月別にんにく 出荷実績(加 工向けの出 荷量を除く)					・加工向けを除いた出荷量を基に算定した結果、目標を上回る実績となり、成果目標を達成できた。		

(注)

- 「取組名」は、「鮮度保持」又は「新流通」のいずれかを記入。
- 「事業内容(施設種類)」は、取組の目的と内容を簡潔に記載(例：○○(品目)について、○○(目的のため、○○(内容)を実施。)。併せて、施設整備を実施した場合は()書きで施設種類を記入。
- 「成果目標の達成状況」の「具体的な内容」は、実施要領別表1の目標一覧のうち該当するものを記入(例：出荷量変動の削減(対象品目の出荷期間における月別出荷量の変動係数を10%以上削減。))。
- 費用対効果分析は、事業採択時と同様の方法で実施すること。
費用対効果が1.0を下回った場合には、「備考」欄にその要因分析等を地方農政局において記述する。
- 要領第5の2の(1)のウにより、地方農政局長が災害等により事業計画で定めた方法では評価が困難と判断した場合は、その旨を地方農政局長等の意見の欄に記述する。
併せて、代替案で事業評価を実施した場合には、一段下の欄に事業評価の検証方法及び評価結果を記入。
- 「事業計画の妥当性」は、計画が妥当な場合は1を、計画が不適切な場合は0を記入。
- 「適切な事業執行」は、事業が適切に実施された場合は1、適切に実施され、更に競争入札を実施した場合は2、それ以外の場合は0を記入する。

農業・食品産業競争力強化支援事業に関する事業評価シート

東北農政局

【事業名】21年度 青果物鮮度保持技術・新流通システム実証事業

都道府 県名	市町村名	事業実施 主体名	取組名	事業実 施年度	対象作物	事業内容 (施設種類)	成果目標の達成状況				事業評価の 検証方法	費用対効果分析		事業計画 の妥当性	適正な事 業執行	地方農政局長等の意見	備考										
							具体的な内容	現状 (計画時)	目標 (23年度)	実績 (23年度)		達成率	事前評価					事後評価									
青森県	弘前市	(有)イーエム総合ネット弘前	鮮度保持	21年度	りんご	りんご出荷量の月別変動係数緩和	変動係数を21%削減	0.717	0.566	0.584	88%	毎日の販売数量及び価格を記録し、月別・旬別の出荷数量及び価格を算出して、基準年度との比較を行う		1	1	達成率は平成21年度103%、平成22年度201%、平成23年度88%となっている。しかし、平成23年度りんごは過去10年の中で出荷量が一番少なく、また、長期保存に適した品種が少ない年であった。3カ年平均では188%の達成率であり目標を達成していると評価する。											
<p style="text-align: right;">単位:トン</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">出荷量</td> <td style="text-align: center;">ふじ等出荷量</td> </tr> <tr> <td>平成22年</td> <td style="text-align: center;">約69万8千</td> <td style="text-align: center;">約50万5千</td> </tr> <tr> <td>平成23年</td> <td style="text-align: center;">約58万2千</td> <td style="text-align: center;">約40万2千</td> </tr> <tr> <td>23/22年比</td> <td style="text-align: center;">83%</td> <td style="text-align: center;">80%</td> </tr> </table>																	出荷量	ふじ等出荷量	平成22年	約69万8千	約50万5千	平成23年	約58万2千	約40万2千	23/22年比	83%	80%
	出荷量	ふじ等出荷量																									
平成22年	約69万8千	約50万5千																									
平成23年	約58万2千	約40万2千																									
23/22年比	83%	80%																									

(注)

- 1 「取組名」は、「鮮度保持」又は「新流通」のいずれかを記入。
- 2 「事業内容(施設種類)」は、取組の目的と内容を簡潔に記載(例:〇〇(品目)について、〇〇(目的)のため、〇〇(内容)を実施。)。併せて、施設整備を実施した場合は()書きで施設種類を記入。
- 3 「成果目標の達成状況」の「具体的な内容」は、実施要領別表1の目標一覧のうち該当するものを記入(例:出荷量変動の削減(対象品目の出荷期間における月別出荷量の変動係数を10%以上削減。))。
- 4 費用対効果分析は、事業採択時と同様の方法で実施すること。
費用対効果が1.0を下回った場合には、「備考」欄にその要因分析等を地方農政局において記述する。
- 5 要領第5の2の(1)のウにより、地方農政局長が災害等により事業計画で定めた方法では評価が困難と判断した場合は、その旨を地方農政局長等の意見の欄に記述する。
併せて、代替案で事業評価を実施した場合には、一段下の欄に事業評価の検証方法及び評価結果を記入。
- 6 「事業計画の妥当性」は、計画が妥当な場合は1を、計画が不適切な場合は0を記入。
- 7 「適切な事業執行」は、事業が適切に実施された場合は1、適切に実施され、更に競争入札を実施した場合は2、それ以外の場合は0を記入する。